

ASTMの代理機関が行うフェイズ ・ ESAのトレーニングコースです。

## ASTM フェイズ I・II

# 環境サイトアセスメントトレーニングコース

協同組合 地盤環境技術研究センター

協同組合地盤環境技術研究センター（Geo-Environment Technology Research Center：略称 GETReC 以下同じ）は、ASTM（米国材料試験協会 以下同じ）が規格化した環境サイトアセスメント（Environmental Site Assessments：略称 ESA 以下同じ）に関して、ASTM が認定したわが国唯一の団体です。ASTM フェイズ ・ ESA については、わが国においては GETReC のみがトレーニングを行い、ASTM の代理機関として認証することができる団体です。

## このトレーニングコースが関与すること

土壌汚染を含む環境問題にたいして ASTM・ESA 実務規格を適用するためのトレーニングコースです。

## このトレーニングコースに参加すると誰に利益がありますか？

このトレーニングコースは、フェイズ ・ ESA の技術面のトレーニングで、ASTM の実務規格・E-1528、E-1527 および E-1903 を使って ESA を実行する人々や、アセスメントから発生した情報を利用する人々、特に不動産に関与するビジネスマンに、利益があります。

平成 15 年 2 月 15 日の土壌汚染対策法の施行により、土壌汚染への関心が高くなりました。とは言っても土壌汚染対策法が適用された事例は、そう多くはありません。関心が持たれているのは土地の取引に際しての土壌汚染への取組です。土壌汚染についてはわが国では、現在は売手側の責任が大きいです。今後は米国と同様に、買手側の責任も要求される時代にならざるを得ません。ASTM フェイズ ・ は米国において土地取引審査に関して土壌汚染等の基本的な取り扱いを規定したことから始まっています。

今回のトレーニングでは、土壌汚染をどのような観点に立って情報を把握し、どのように理解するかを、ASTM フェイズ を基本とした日本方式について解説いたします。この日本方式は GETReC が ASTM に提案し、ASTM において日本方式として承認されたものです。更に、わが国の土壌汚染対策法にある土壌汚染状況調査に概ね相当する、フェイズ についても解説いたします。

このトレーニングは、金融機関、不動産関連（鑑定、取引、開発等）の人々においては、土壌汚染をどのように理解すべきか、または、どのように対処すべきか、などを広く知る絶好な機会です。特に、土壌汚染の調査に際してどのような点に関心を払うべきかを、具体的な例で解説しますので、今後の仕事の上で十分にお役に立つことは間違いなくと考えています。

わが国は、政治は言うに及ばず経済も国際化の波に乗り遅れては、先行きに光明は見えません。土壌汚染も同様に、わが国独自の方式だけでは国際的な評価に結びつかないことが、現実になっています。例えば外資系（特に米国）資本の会社では、A&M などの際の土壌汚染調査には、ASTM の規格に基づいて、環境プロフェッショナル（略称 EP 以下同じ）が ESA を行うことが要求されます。

#### 環境プロフェッショナル資格に関する国内解釈と

ASTM 環境サイトアセスメント実施の条件についての確認  
環境プロフェッショナルとは、ASTM E1527 3.3.12 および E 1903 3.1.13 の規定に該当するものであって、国内資格としては、地質調査技士、技術士、土壌汚染対策法のもとで十分な実務経験を有すると認められたもの等がこれに相当します。環境プロフェッショナルが ASTM 規格に基づいて環境サイトアセスメントを行う場合は、ASTM 認定のフェイズ I・II トレーニングコースを受講しておくことが要求されます。

わが国では GETReC のみが ASTM の代理機関として ASTM 認定のフェイズ・トレーニングコースを実施することができます。これは ASTM と GETReC の契約に基づくものであり、ASTM から派遣された講師〔Zdenek Hejzlar 環境サイトアセスメントフェイズ・技術マニュアル著者〕により、わが国におけるトレーナーとしてのトレーニングを受けた GETReC の講師が、トレーニングコースを実行します。そのトレーニングコースを受講した方々が、ASTM の EP として認証されることができます。

どのような立場におかれましても、土壌汚染に関心のある方、関心を持たなくてはならない方、皆様に受講をお勧めいたします。是非ともご検討くださるようお願いいたします。参加をお待ちしています。

#### トレーニングコース開催地と日時

★ 第 1 回 東京 平成 15 年 10 月 29 日 (水)

● 第 2 回 札幌 平成 15 年 11 月 11 日 (火)

◇ 第 3 回 大阪 平成 16 年 1 月 22 日 (水)

➤ 第 4 回 東京 平成 16 年 2 月 4 日 (水)

※ 詳細は別紙を参照ください。

トレーニングコースは 1 日で行いますが、カリキュラムについては次ページに示してあります。テキストは GETReC が ASTM より著作権を取得し、日本語版に翻訳して販売している「環境サイトアセスメント フェイズ・技術マニュアル」（日本語翻訳版）を使用いたします。テキスト代は受講料に含まれています。他にもトレーニングコース用に ASTM が作成したスライドを数多く使用いたします。

## 【一般向け】

「ASTM フェイズ ・ 環境サイトアセスメントトレーニングコース」 要旨

主催：GETReC（協同組合地盤環境技術研究センター）

後援：全地連（全国地質調査業協会連合会）

トレーニングコース月日・都市

- |     |    |   |             |        |
|-----|----|---|-------------|--------|
| 第1回 | 東京 | 平成15年10月29日（水）  | 09:30~16:30 | 定員100名 |
|     | 会場 | ANJO インターナショナル会議室 電話：03-5298-7575<br>〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-9-1 ANJOビル   |             |        |
| 第2回 | 札幌 | 平成15年11月11日（火）  | 〃           | 定員60名  |
|     | 会場 | (財)道民活動振興センター「かでの2.7」 電話：011-231-4111（内36-111）<br>〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 |             |        |
| 第3回 | 大阪 | 平成16年1月22日（水）   | 〃           | 定員60名  |
| 第4回 | 東京 | 平成16年2月4日（水）  | 〃           | 定員100名 |

参加費用：1人4万円

テキスト：環境サイトアセスメント フェイズ ・ 技術マニュアル（日本語翻訳版）

研修カリキュラム

環境サイトアセスメントとは何か?	09:30~10:30	
ASTM フェイズ 環境サイトアセスメント		
	10:40~12:00	13:00~14:00
ケーススタディ・質疑応答	14:10~14:40	
ASTM フェイズ 環境サイトアセスメント	15:00~16:00	
事例紹介・質疑応答	16:00~16:30	

講師名称・所属（15名）

- |        |                                   |
|--------|-----------------------------------|
| 西田 道夫  | 【協同組合 地盤環境技術研究センター】               |
| 亀和田 俊一 | 【協同組合 地盤環境技術研究センター<br>株式会社 レアックス】 |
| 伊藤 康   | 【日本海開発 株式会社】                      |
| 河村 志朗  | 【株式会社 ソイル・ブレーン】                   |
| 菅野 匡   | 【株式会社 サクセン】                       |
| 新保 学   | 【株式会社 村尾技建】                       |
| 竹居 信幸  | 【東邦地水 株式会社】                       |
| 田中 誠   | 【中央開発 株式会社】                       |
| 鐵川 朋幸  |                                   |
| 栃山 繁   | 【株式会社 村尾地研】                       |
| 外山 涼一  | 【株式会社 荒谷建設コンサルタント】                |
| 山西 正朗  | 【日本エルダルト 株式会社】                    |
| 山田 健一  | 【株式会社 三協エンジニア】                    |
| 横山 克男  | 【協和地下開発 株式会社】                     |
| 吉田 愛   | 【株式会社 親和テクノ】                      |